

2018年11月12日

報道関係各位

株式会社鮎忠

## 株式会社草津亭を子会社化、第4の事業として展開

株式会社鮎忠（本社：東京都台東区浅草 代表取締役社長：根本修、以下 鮎忠）は、平成30年10月1日に破産開始決定を受けた株式会社草津亭（本社：東京都台東区浅草 代表取締役社長：藤谷政弘 以下 旧 草津亭）の割烹店事業について、破産管財人弁護士から入札により優先交渉権を得て、東京地方裁判所の許可を受け、平成30年11月1日に事業譲受を完了しました。

今後は鮎忠の100%子会社として、新たに株式会社草津亭（設立日：平成30年11月1日、資本金1,000万円、本社：東京都台東区浅草 代表取締役会長：根本修、代表取締役社長：安孫子節人、以下新生 草津亭）を設立し、旧 草津亭から承継した割烹店事業を継続し、当社の既存の事業との相乗効果を図り、発展させていきます。



### 旧 草津亭について

旧 草津亭は、創業明治5年（1872年）、146年の歴史を持つ老舗料亭・割烹です。初代店主が善光寺参りの際、夢枕に大黒天が現れ「汝、草津温泉の湯の花を持参し温泉を開業せよ」とお告げを受け、温泉割烹を始めたのがその名の由来です。提供してきたのは、遡ること160余年、ペリーが浦賀に来航し我が国に開国を迫った際、幕府が使節団の接待に出したと言われる江戸饗応料理にそのルーツを持ちます。伝統を受け継ぐ洗練された味を、長年守り抜いてきました。

また、浅草の老舗割烹である旧 草津亭は、江戸の昔から続く、極上の日本料理とお酒を凝った拵えのなかで楽しむ「芸者遊び」の舞台として、花柳界とも深く関わってきました。

### 新生 草津亭について

新生 草津亭は、この歴史ある草津亭の味と伝統のおもてなしをそのまま残しながら、鮎忠の持っている先端の経営手法を採り入れ、末永く継承し、さらに発展させていこうと考えています。最初の段階では、割烹店事業および総菜、弁当等のケータリング事業からスタートしますが、将来的には業態やエリアの拡大

を含めた、多面的な展開を視野に入れていきます。旧 草津亭が今まで築き上げてきた、浅草の伝統である花街（はなまち）文化の継承と再興の役割も、同時に果たしていく所存です。

各方面からご好評を頂いていた草津亭ブランドのお弁当、仕出し、総菜の事業は、今後鮒忠工場にて製造し、販売して提供を続けます。

#### 鮒忠としての取り組み

鮒忠では現在、3つの基幹事業（ケータリング事業、外食事業、鶏肉を中心とした食品卸売事業）を軸に事業を展開していますが、新たに加わる割烹店舗事業を第4の軸に据え、シナジー効果を最大限に発揮し、多角化、多店舗化を進めていきます。

#### 記

##### 新生 草津亭概要

社 名 : 株式会社草津亭  
設 立 日 : 平成 30 年 11 月 1 日  
資 本 金 : 1,000 万円  
本 社 : 東京都台東区浅草 5-6-4  
代表取締役会長 : 根本修  
代表取締役社長 : 安孫子節人  
事業内容 : 割烹店舗事業、ケータリング事業 ほか

以上

＝この件に関するお問い合わせ先＝

株式会社鮒忠

<http://www.funachu.co.jp/>

〒111-0032 東京都台東区浅草 5-6-4

TEL. 03-3875-5131

稲積慶一

e-mail : [inazumi@funachu.co.jp](mailto:inazumi@funachu.co.jp)